

【件名】

歩道の整備について

【内容】

大船エリアの歩道がガタガタでベビーカーを押して歩きづらいです。多少は仕方ないと存じますが、小袋谷 T 字路から線路に向かう道（ネッツトヨタ方面に向かって）はガタガタで且つ傾斜がかかっているため歩行困難です。お年寄りの方も多くいらっしゃり、危険だと思います。

その道を通らないと子育て支援センターや「子ぶくろ家」へ行かれないで困るというママさんの声も多いです。（我が家も含めて…）

整備をご検討願えますと幸いです。赤ちゃんからお年寄りまで住みやすい鎌倉になりますように…
よろしく願いいたします。

【回答】

本市で現地調査を行い車道と側溝の間の高低差を確認しましたが、当該道路は、県道であるため道路管理者である神奈川県藤沢土木事務所に御意見及びその状況を報告し、神奈川県での調査も速やかに行われましたので、その結果について報告します。

『小袋谷交差点から踏切までの区間については、歩道がない区間が多く、車道と側溝の高低差が約 20cm から 25cm あります。

この段差を解消するためには、歩道を整備することが最も効果的ですが、歩道を整備するためには沿道の皆様の用地買収が必要となり、多大な期間、費用を要することになります。

しかし、この状況については、改善の必要があると考えており、側溝の蓋の改修により段差改善を行うことや、側溝の高さを調整することなど、可能な範囲で、歩行者の方々が歩きやすい道路となるよう検討を行う。』とのことでした。

工事までには、いまだ少し時間がかかりますが、御理解のほど宜しくお願いしますとのことでした。

平成 29 年 9 月 28 日対応／回答